

平成31年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
基本方針	農林水産業を振興するまち
基本施策名	農業の振興

	所属	職名	氏名
作成者	農政課	課長	堀内寅生
評価者	農林部	部長	高嶋雅俊

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	市の根幹をなす農業とこれを担う魅力ある農村づくりを目指すため、平成23年度に安曇野市農業・農村振興基本計画を策定し、平成24年度に具田的な数値目標と実施施策を振興計画(アクションプラン)として策定しました。平成25年3月に安曇野市農業農村振興基本条例を制定、同年8月に条例の規定に基づいて振興計画の実施状況の点検・評価並びに基本計画及び推進に必要な調査、提言が安曇野市農業農村振興計画推進委員会によって行われており、現在第2次計画に沿って事業を推進しています。
基本方針(目指すべき方向性)	農業を基幹産業としてとらえ、農業の魅力を高め、担い手を確保・育成するとともに、農地の集積を図ることで、農業経営の効率化と安定化を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H29	H30	H31	達成率	進捗状況	所管課
認定農業者数	経営体	267	270		280	283	104.8	順調	農政課
集落営農組織数	組織	27	28		27	27	96.4	停滞	農政課

施策指標の進捗状況と分析	認定農業者数はH29年度時点ですでに目標を達成しており、H31前年度に対し3人増となりましたが、集落営農組織数は、目標設定時から組織の入代り等もあり、結果的に目標に達していません。組織化は地域内の合意形成を得る必要があり難易度が高く、組織化されたとしても現状を維持していくのが限度という状況もあるので、「人・農地プランの実質化」を図る中で組織づくりの検討する必要があります。これらの施策指標に直結する事業(「農業用機械施設整備事業」「市農業再生協会集落支援事業」「農地集積事業」「後継者育成事業」)、および間接的に影響する事業(「産地パワーアップ事業」「経営所得安定対策等推進事業」)の総合評価はいずれも「A」評価であるので一定の効果があったものと考えられます。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化		
				H29	H30	H31	R 2	R 3	合計	事業区分	新/継	終期		方向性	正規職員数
1	0106040	農業・農村計画事業	農業政策係	503,100	80,500	84,000	308,000	308,000	1,283,600	政策的業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.13	○
2	0106050	農業振興地域整備促進事業	農業政策係	4,004,821	687,936	1,104,000			5,796,757	義務業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	1.67	
3	0106070	農業生産振興事業(市再生協事業)	生産振興担当	3,895,000	12,287,511	9,418,360	12,984,000	12,984,000	51,568,871	政策的業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	1.5	
4	0106080	環境保全型農業推進支援事業	生産振興担当	940,800	1,035,200	1,162,700	1,040,000	1,040,000	5,218,700	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.4	
5	0106082	産地パワーアップ事業	生産振興担当	12,613,000	14,056,000	15,402,000	6,250,000	6,250,000	54,571,000	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.4	
6	0106090	経営所得安定対策等推進事業	生産振興担当	21,840,000	17,674,000	16,713,000			56,227,000	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.62	
7	0106110	苗箱施薬剤購入補助事務	生産振興担当	13,937,637	13,309,655	8,921,438	4,666,000	4,666,000	45,500,730	政策的業務	継続	令和2	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.2	
8	0106120	市農業振興作物等推進事業	生産振興担当	57,589,320	56,069,317	55,109,280	55,148,000	55,148,000	279,063,917	政策的業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.34	○
9	0106130	果樹生産農家支援事業	生産振興担当	10,301,274	15,827,460	11,298,945	13,911,000	14,061,000	65,399,679	政策的業務	継続	期限なし	事業効果を高めるための方策を検討	0.4	
10	0106140	そ菜価格安定共助会負担金	生産振興担当	3,196,192	2,819,863	3,054,199	3,300,000	3,300,000	15,670,254	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.1	
11	0106150	玉ねぎ機械化体系支援事業	生産振興担当	6,475,806	6,571,894	6,408,571	7,077,000	7,490,000	34,023,271	政策的業務	継続	令和7以降	事業の進め方の改善が必要	0.3	○
12	0106160	海外輸出販路開拓事業	マーケティング担当	6,521,909	6,458,747	2,154,250	3,040,000	40,000	18,214,906	政策的業務	継続	令和2	事業の進め方の改善が必要	0.43	
13	0106170	産直センター運営支援事業	マーケティング担当	4,304,556	4,218,468	4,152,792	4,399,000	4,399,000	21,473,816	政策的業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.2	
14	0106190	農産物等販路拡大事業	マーケティング担当	4,191,744	4,655,148	3,700,689	4,210,000	4,210,000	20,967,581	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.22	
15	0106210	豊科農産物加工交流センター運営事業	マーケティング担当	2,718,400	2,463,520	1,818,760			7,000,680	施設の管理運営	継続		現状のまま事業を実施することが適当	0.11	○
16	0106230	穂高農業活性化施設運営事業	マーケティング担当	11,007,459	10,990,392	9,880,038			31,877,889	施設の管理運営	継続		事業の進め方の改善が必要	0.3	○
17	0106240	三郷産地形成促進施設運営事業	マーケティング担当	754,567	474,282	1,704,282			2,933,131	施設の管理運営	継続		現状のまま事業を実施することが適当	0.11	○

平成31年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
基本方針	農林水産業を振興するまち
基本施策名	農業の振興

	所属	職名	氏名
作成者	農政課	課長	堀内寅生
評価者	農林部	部長	高嶋雅俊

18	0106260	堀金物産センター及び農産物処理加工施設運営事業	マーケティング担当	9,964,475	8,722,694	7,997,538			26,684,707	施設の管理運営	継続		現状のまま実施することが適切	0.3	○
19	0106270	明科農産物加工交流施設運営事業	マーケティング担当	2,836,178	2,836,178	3,406,418			9,078,774	施設の管理運営	継続		現状のまま実施することが適切	0.11	○
20	0106290	三郷やすらぎ空間運営事業	農業政策係	3,222,739	3,794,957	4,638,012			11,655,708	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.1	○
21	0106300	コミュニティー施設運営事業	農業政策係	1,074,176	1,074,176	1,290,176			3,438,528	施設の管理運営	継続	期限なし	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.3	○
22	0106310	安曇野の里運営事業	農業政策係	18,280,410	24,775,530	20,927,610			63,983,550	施設の管理運営	継続	令和 7以降	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.1	○
23	0106320	安曇野の里改修事業	農業政策係	62,405,028	11,247,542	3,427,080	10,144,000	10,976,000	98,199,650	ハード(継続)	継続	令和 7以降	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.1	○
24	0106330	ファインビュー室山運営事業	農業政策係	469,800	540,000	2,667,500			3,677,300	施設の管理運営	継続	令和 4	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.3	○
25	0106340	ファインビュー室山改修事業	農業政策係	85,328,817	23,630,177	15,353,101	38,794,000	40,444,000	203,550,095	ハード(継続)	継続	令和 4	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.1	○
26	0106350	ほりで一ゆ〜運営事業	農業政策係	6,458,867	11,193,830	8,780,030			26,432,727	施設の管理運営	継続	令和 4	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.3	○
27	0106360	ほりで一ゆ〜改修事業	農業政策係	82,173,793	99,722,573	34,356,940	125,184,000	123,534,000	464,971,306	ハード(継続)	継続	令和 4	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.1	○
28	0106370	小倉多目的研修施設管理事業	集落支援担当	4,098,600	2,700,000	2,600,000			9,398,600	施設の管理運営	継続	令和 7以降	現状のまま実施することが適切	0.12	
29	0106380	農家民宿推進事業	マーケティング担当	189,880	3,066,651	3,355,194	3,349,000	348,000	10,308,725	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.29	○
30	0106390	市民農園事業	マーケティング担当	691,546	439,916	463,455	473,000	473,000	2,540,917	定型業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.19	
31	0106410	制度資金給付事業	集落支援担当	1,904,344	1,419,237	1,050,583			4,374,164	定型業務	継続	令和 7以降	事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.18	
32	0106430	農業用機械施設整備事業	集落支援担当	10,322,327	16,215,511	16,666,184	27,204,000	27,500,000	97,908,022	政策的業務	継続	令和 7以降	現状のまま実施することが適切	0.36	○
33	0106440	市農業再生協議会集落支援事業	集落支援担当	7,853,000	6,583,394	5,597,497	7,300,000	7,300,000	34,633,891	政策的業務	継続	令和 7以降	現状のまま実施することが適切	0.9	○
34	0106470	後継者育成事業	集落支援担当	41,639,781	41,271,798	38,540,698	55,760,000	59,560,000	236,772,277	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.93	○
35	0106488	荒廃わさび田再生検証事業	集落支援担当	1,890,000	3,879,300	2,220,000	5,000,000		12,989,300	政策的業務	継続	令和 2	事業の進め方の改善が必要	0.21	
36	0106490	荒廃農地解消事業	集落支援担当	6,438,519	7,859,000	4,219,000	3,247,000	2,647,000	24,410,519	義務・政策併用事業	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.43	
37	0106500	中山間地域直払事業	集落支援担当	17,516,633	17,417,050	18,028,006	17,455,000	17,455,000	87,871,689	義務・政策併用事業	継続	令和 7以降	現状のまま実施することが適切	0.48	
38	0106510	有害鳥獣防止対策事業	集落支援担当	6,919,190	6,447,972	6,128,813	16,900,000	16,785,000	53,180,975	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.93	
39	0106530	南農高校連携事業	マーケティング担当	393,936	457,639	278,844	520,000	520,000	2,170,419	定型業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.26	
40	0106540	農業塾等助成事業	マーケティング担当	936,000	436,000	441,400	450,000	450,000	2,713,400	定型業務	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.05	
41	0106550	女性農業者支援事業	マーケティング担当	42,120	42,120	40,290	46,000	46,000	216,530	定型業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.1	

平成31年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
基本方針	農林水産業を振興するまち
基本施策名	農業の振興

	所属	職名	氏名
作成者	農政課	課長	堀内寅生
評価者	農林部	部長	高嶋雅俊

42	0106560	畜産農家支援事業	生産振興担当	3,575,989	2,921,583	13,241,955	4,082,000	4,082,000	27,903,527	政策的業務	継続	期限なし	事業効果を高めるための方策を検討	0.5	
43	0106570	三郷堆肥センター運営事業	生産振興担当	25,854,152	25,925,000	28,256,449			80,035,601	施設の管理運営	継続		事業の縮小・廃止のスケジュールを検討	0.5	○
合計				567,275,885	494,299,721	396,060,077	432,241,000	426,016,000	2,315,892,683						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	農業農村振興計画(アクションプラン)を条例の規定に基づいて、実施状況の点検及び評価をする「市農業農村振興計画推進委員会」の平成31年度事業評価は、「203事業のうち97%に着手しており概ね順調」と評され、前年度と比較するとパーセンテージで6ポイント上昇していること。また、認定農業者及び営農組織による経営面積が前年度より153ha増えており、市の耕地面積全体に占める基幹的農業者の経営面積割合が50.5%(前年度49.0%)に達し5割を超えたことを踏まえれば、事業実施により市内の農地の大凡は、耕作が継続されているといえるので、事業効果は十分であると判断します。しかしながら個別の事業内容においては、「海外輸出版路開拓事業」のように事業の必要性はあっても、非効率で市が単独で行うには不向きな事業、また、必ずしも行政が行う必要のない事業や効率的な財政運営の視点から事業内容の見直しが必要な補助事業がありますので、事業編成に取組み効果がある事業の見極めと、スクラップ&ビルドが必要です。
重点化事務事業の考え方	① 公共施設再配置計画を具体的に推進し、農業関連施設の総量を削減します。＜該当事業＞「豊科農産物加工交流センター運営事業」「穂高農業活性化施設運営事業」「三郷産地形成促進施設運営事業」「堀金物産センター及び農産物処理加工施設運営事業」「明科農産物加工交流施設運営事業」「三郷やすらぎ空間運営事業」「コミュニティー施設運営事業」「安曇野の里運営事業」「安曇野の里改修事業」「ファイビュー室山運営事業」「ファイビュー室山改修事業」「ほりでーゆー運営事業」「ほりでーゆー改修事業」 ② 第3次農業農村基本計画・振興基本計画の改訂をスムーズに進めるため令和2年度中に改訂方法の確立します。＜該当事業＞「農業・農村基本計画事業」 ③ 前項2の改訂に併せ現行補助制度を検証し、具体的施策として計画に反映させます。 ＜該当事業＞「農業用機械施設整備事業」「市農業再生協議会集落支援事業」「農地集積事業」「後継者育成事業」「荒廃農地解消事業」「南農高校連携事業」「農業塾等助成事業」「女性農業者支援事業」「畜産農家支援事業」「市農業振興作物等推進事業」「果樹生産農家支援事業」「玉ねぎ機械化体系支援事業」「三郷堆肥センター運営事業」
縮減・廃止事務事業の考え方	「重点化事務事業の考え方」欄 ①による事業の廃止、統合、 ③による事業の縮減を図ります。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	高齢化による農業離れ、農業後継者不足が進行する情勢ですが、帰農者、新規就農者は一定数生まれており、これらの就農者の育成、認定農業者・集落営農組織等の足腰の強い農業経営体への支援を行っており、農業・農村振興計画に基づく平成31年度(令和元年度)の実施事業は「概ね順当」と評価されましたので一定の事業展開が図られ、また、推進計画の実行組織である「市再生協議会」組織形態を見直しにより組織のスリム化を図り、これに併せ再生協議で行う事業を明確化し、市が行う事業との区別を図りました。しかし、事務事業評価44事業中、総合評価「A」判定以外が半分あり、またその約半分が「E」判定でありますので、「E」判定については、事業の縮小・廃止等を早急に行う必要、それ以外については、事業のスクラップ&ビルドが必要です。

平成31年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
基本方針	農林水産業を振興するまち
基本施策名	水を活用した産業の振興

	所属	職名	氏名
作成者	農政課	課長	堀内寅生
評価者	農林部	部長	高嶋雅俊

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	市の根幹をなす農業とこれを担う魅力ある農村づくりを目指すため、平成23年度に安曇野市農業・農村振興基本計画を策定し、平成24年度に具田的な数値目標と実施施策を振興計画（アクションプラン）として策定しました。平成25年3月に安曇野市農業農村振興基本条例を制定、同年8月に条例の規定に基づいて振興計画の実施状況の点検・評価並びに基本計画及び推進に必要な調査、提言が安曇野市農業農村振興計画推進委員会によって行われており、現在第2次計画に沿って事業を推進しています。
基本方針 (目指すべき方向性)	わさび栽培やニジマス養殖など、地下水や湧水を活用した産業の振興を図り、他産地との差別化に取り組みます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H29	H30	H31	達成率	進捗状況	所管課
わさび栽培面積	ha	31.3	33.0		31.2	32.0	96.9	停滞	農政課
安曇野わさびの地理的表示（GI）取得数	件	0	1		0	0	0	停滞	農政課

施策指標の進捗状況と分析	「わさびの地理的表示「GI」取得」については、生産物が他の産地と区別化ができないことから困難な状況です。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化
				H29	H30	H31	R 2	R 3	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数	
1	0106850	水産資源拡大補助事業	生産振興担当	185,000	185,000	185,000	352,000	352,000	1,259,000	政策的業務	継続	期限なし	事業の抜本的な見直しが必要	0.1	
合計				185,000	185,000	185,000	352,000	352,000	1,259,000						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	—
重点化事務事業の考え方	—
縮減・廃止事務事業の考え方	—
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	助成の目的が、農業・農村振興基本計画に合致していませんので、養殖生産拡大を図る等の取組みについて犀川漁協、水産試験場等関係機関と協議し整合を執ります。